



祝 40 周年

学校だより

7 月号

平成 30 年 7 月 2 日
横浜市立善部小学校
校長 小澤 紀子

～つなげよう善部の心 あいさつ・スマイル・思いやり～

大切なこと

学校長 小澤 紀子

早いもので、あと 1 か月足らずで夏休みです。新年度を迎えたばかりかと思っていたのに、いつの間にか季節が進んでいました。先月の学校公開にはたくさんの方にご来校いただき、ありがとうございました。授業の様子を見ていただいた感想は、どれもありがたく読ませていただきました。子どもたちの頑張っている様子を見ていただけてよかったです。ありがとうございました。

さて、先日 6 月というのに梅雨あけも近いという報道を聞き、驚きました。異常気象という言葉が浮かんだのは私だけではないと思います。日々の気温差が 10 度もあるような不安定な天気が続いたかと思えば、いきなり真夏日の暑さとなり、史上初の早さの梅雨明けとなりました。体調を崩す子も出てきています。先日の学校保健委員会では「手洗い・うがいで元気な体を守ろう ～手洗い・うがいプロジェクト～」というテーマで健康について考え、話し合いました。今年も手洗い・うがいで健康を守ろうという取組を行っています。昨年は手洗い歌を全校に伝え実践しました。給食前に水道の前にずらっと並び、自分たちで歌いながら手を洗っている低学年の子どもたちの微笑ましい姿をよく見かけました。3 年生以上のクラスの代表が集まり、事前にクラスで話し合ったことや保健委員会の提案を聞いての意見を出していました。クラスに戻って話し合った内容を伝え、実践していってほしいと思っています。校医の先生や PTA の保健委員の方も参加してくださいました。ありがとうございました。手洗い・うがいの実践もちろんですが、自分の健康に関する意識を高めていくことがねらいのひとつとなっています。体調を崩しやすい今の季節、自分の健康についても意識して、「手洗い・うがい」そして「早寝・早起き・朝昼晩ご飯」に取り組んでくれたらうれしいなと思っています。

また、6 月 28 日 (木) に旭公会堂で「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト旭区審査会」が行われました。本校代表として 6 年生の児童が「くやしさをバネに」というスピーチを行いました。たくさんの方の前で堂々と自分の意見を伝える姿に胸うたれました。いじめをなくすために、人に対しても自分の家族と同じ様に思いやりや優しさの気持ちをもって接すること、自分から声をかけ、友達の気持ちに寄り添うことを大切にして、皆で支え合いながら、輝く未来に楽しく進んでいきたいと話してくれました。大きな賛同の拍手があったことは言うまでもありません。

国際平和というと大きく深いテーマで実際に自分事として考えるのは難しいことでもあります。けれども、6 年生は身の回りのことやこれまでの経験を振り返り、調べたり考えたりしながら自分のできることをまとめていきました。自分のできることを考え実践していくことが、今は小さいことでも、やがては国際平和という大きなテーマにつながっていくのです。

大切なことは、自分で考えること。自分の思いや考えを言葉で表現して伝えること。その言葉を聞いて心で受け止め、自分の考えを確かめたり深めたりすること。そして次の活動につなげていくことだと考えています。そしてこのことは、日々の授業でも他の教育活動でも大切にしていることです。「考える。言葉で伝える。聴く。」繰り返し繰り返し行いながら、子どもたちの確かな力として育てていきたいと思っています。

日頃より地域や保護者の皆様には、本当に温かいご支援をいただきありがとうございます。皆が元気で夏休みを迎えられるよう努めて参ります。暑い日々、皆様もお身体ご自愛ください。